

登録コード	TSQ05502	開講年度	2026				
授業科目	精密知能機械演習 I				担当教員	酒井 悟	
英文授業名	Seminar in Precise Intelligent Machinery, 1				副担当		
単位数	2	講義期間	不定期	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	
講義室			授業形態	演習	備考	修士1年生	
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	【授業で得られる「学位授与の方針」要素】				⇔	【授業の達成目標】	
	2 6 TSカリ, 2 5 TSカリ						
	【専攻】 工学分野の研究者・技術者として科学・技術を発展させるための幅広い見識と健全な倫理観				⇔	工学基礎および精密知能機械分野に関連するテーマを取り上げ, ゼミナール形式の演習を実施する.	
	【専攻】 さまざまな課題に対処できる高い情報収集・分析能力とグローバルな情報発信能力				⇔	工学基礎および精密知能機械分野に関連するテーマを取り上げ, ゼミナール形式の演習を実施する.	
(2)授業の概要	工学基礎および精密知能機械分野に関連するテーマを取り上げ, ゼミナール形式の演習を実施する. 学部基礎工学科目および精密知能機械分野関連科目で修得した基礎知識をベースに, 工学一般および精密知能機械に関連する欧文文献を原文で読解することにより, 講義で得られた専門知識をさらに深めていく. 授業は集中講義形式にて実施し, 前期集中20時間, 後期集中20時間の合計40時間の演習を実施する.						
(3)授業計画	第1回 (前期集中5時間 1コマ2時間×1日2.5コマ) : ガイダンス, 演習課題の配布および解説 第2回 (前期集中5時間 1コマ2時間×1日2.5コマ) : 文献調査演習 第3回 (前期集中5時間 1コマ2時間×1日2.5コマ) : 課題解決方法の検討 第4回 (前期集中5時間 1コマ2時間×1日2.5コマ) : 課題解決手法のまとめ 第5回 (後期集中5時間 1コマ2時間×1日2.5コマ) : 技術レポート作成の発展演習 第6回 (後期集中5時間 1コマ2時間×1日2.5コマ) : 技術プレゼンテーション演習 第7回 (後期集中5時間 1コマ2時間×1日2.5コマ) : 学術図書(英語)の輪読および解説 第8回 (後期集中5時間 1コマ2時間×1日2.5コマ) : 学術論文の輪講および解説, 最終プレゼンテーション・討論						
(4)成績評価の方法	レポート50点, プレゼンテーションおよび討論50点の合計点で評価する. 90点以上を秀, 80点以上90点未満を優, 70点以上80点未満を良, 60点以上70点未満を可とする.						
(5)成績評価の基準	技術発表資料(PPT, PDFなど)に対して 客観性(文章形式, 図表形式, 内容), 新規性が評価される. 本授業では問題設定は評価しない. 『合格水準にある』客観性(図表形式)がある+客観性(内容)がない+新規性がない 『やや上にある』客観性(文章形式, 図表形式, 内容)がある+新規性がない 『かなり上にある』客観性(文章形式, 図表形式, 内容)がある+新規性がある 『卓越している』客観性(文章形式, 図表形式, 内容)がある+新規性が高い						
(6)事前事後学習の内容							
(7)履修上の注意							
(8)質問,相談への対応	適宜対応(教員室にて対面 もしくは オンライン同期 を重視 メール対応あり)						
(9)その他							
【教科書】	指定なし						
【参考書】	Transaction of ASME, 日本機械学会論文集C編, 計測自動制御学会論文集, ほか						